

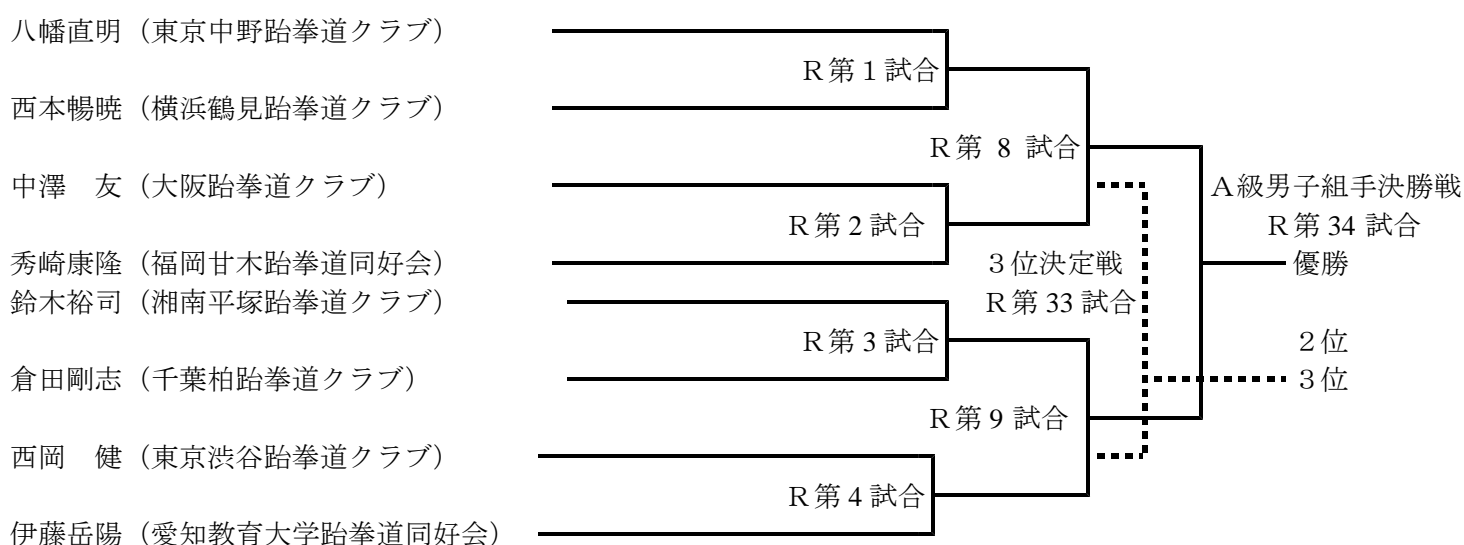
# アディダス・カップ2019

## 第30回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会 見所

### フルコンタクト・テコンドー王者決定戦

2019年11月23日(土) 夜 後樂園ホール 主催 日本テコンドー協会

#### A級男子組手無差別級 対戦表



八幡直明の2連覇を阻むのは誰か?!

仕上がり順調の倉田剛志

中澤 友 対 秀崎康隆 激戦必死

本大会の看板種目は「2019年度フルコンタクト・テコンドー王者」を決定するA級男子組手無差別級である。

2連覇を狙う八幡直明(東京中野TC)に立ちはだかるのは、順当にゆけば倉田剛志(千葉柏TC)であろう。

本年度、出場した予選会では無敗。戦えば必ず勝っている。

元々、100kgある体重を絞っており、背筋等の強化トレーニングが身を結び、蹴りの威力も増している。

その成果が本年度予選会での3回の一本勝ち勝利であった。

毎年、指摘されてきた一本勝ちの少なさを克服した観がある。

対する八幡は、昨年度、全日本F T大会優勝以降、予選会に出場していないことから組手観が鈍っている可能性がある。

「全日本F T大会に選抜して頂ければ、是非、八幡選手と戦いたい！」

と希望していた1回戦の対戦相手・西本暢暁（横浜鶴見跆拳道クラブ）との戦いに注目したい。

西本は、190cm近い長身で馬力がある。恐竜並みの硬い骨による蹴り。しかも飛んで蹴れるのだから脅威といえる。

格闘技の殿堂・後楽園ホールリングの長い歴史の中でも、

初となるであろう190cm近い打撃系選手による飛び蹴りは必見である。

河明生会長が注目するのが、第2試合 中澤 友（大阪跆拳道クラブ）対 秀崎康隆（福岡甘木跆拳道同好会）戦。

中澤は、フルコンタクト・ルールでの組手相手を求めてキックボクシング・ジムに出稽古研鑽。

その成果が関西大会での鬼気迫る一本勝ちであった。

対する秀崎は、元WTF有力選手。WTF固有の変化に富むトリッキーな蹴り技の名手である。

JTAに白帯から再入門し、実力で二段に昇段。

本年、自分の故郷に福岡甘木テコンドー同好会を創立して弟子をもち、心身共に充実している。

中澤が剛なら、秀崎は柔。剛が勝つか柔が勝つか注目したい。

第3試合。倉田に挑むのが鈴木裕司（湘南平塚跆拳道クラブ）である。

30代と若いが高校生の頃から在籍するキャリア約20年の「湘南平塚跆拳道クラブ最古参の主」である。

昨年度、全日本F T大会予選会には骨折により出場できず悔しい思いをした。

しかし、本年の関西大会で成長著しい若手・戸谷優仁（神奈川大学体育会）を破って完全復活。

倉田の組手を熟知しており、カウンター蹴り等の一発逆転を狙うであろう。

第4試合は、西岡 健（東京渋谷跆拳道クラブ）対 伊藤岳陽（愛知教育大学跆拳道同好会）。新旧対決である。

西岡は本年40歳のベテラン選手。しかし、20代の若手選手と互角に戦える身体的能力の持ち主である。

試合内容如何で選手定年が延長になる（A級組手は理事会での特例選手に指定されない限り40歳で強制引退）。

対する伊藤は、20歳の大学生。少年部出身の生え抜きの若手のホープである。

日本中で臆病な男子が増加傾向の中、伊藤の勇気は称賛に値する。

経験を積むことで「A級の壁」を突破し、フルコンタクト・テコンドー王者になることを期待されている。



八幡直明  
連覇をしようとする一昨年の二の舞になるので、  
去年と同じ気持ちでがんばります。



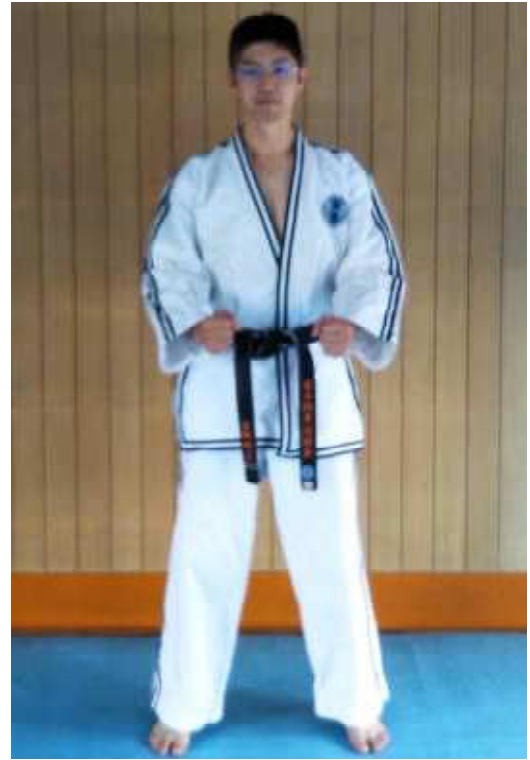
西本暢暁  
推薦にて選んでいただいたチャンスを活かして少しでも  
内容の良い試合を繰り広げていきたいと思います。



中澤 友  
優勝目指して頑張ります。



鈴木裕司  
優勝目指して頑張ります。



倉田剛志  
練習してきた成果が出せるよう、全力を尽くします。



西岡 健  
30回大会、40歳と節目なので、良い内容で勝ちたいです！



伊藤岳陽  
今回2回目の男子組手A級無差別級の出場なので、少しでも前回の結果を超えられるように残り少ない期間を大切に練習をしていきたいと思います。